

◆ 学位	学位名	修士 (経済学) 名古屋市立大学	
	取得方法	課程 平成4年取得	
◆ 学歴	大学	南山大学法学部法律学科 昭和58年卒業	
	大学院	名古屋市立大学大学院経済学研究科日本経済・経営専攻修士課程平成4年修了	
◆ 学内職務 (2021年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 経営学科企業経営専攻長 ▪ 教務委員 		
◆ 担当授業科目 (2021年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">▪ 経営学基礎Ⅰ・Ⅱ <li style="width: 50%;">▪ 消費者心理学 <li style="width: 50%;">▪ 演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ <li style="width: 50%;">▪ 大学基礎演習Ⅰ・Ⅱ <li style="width: 50%;">▪ ライセンスセミナーⅥ(販売士) <li style="width: 50%;">▪ 地域活性化概論 <li style="width: 50%;">▪ 店舗診断 <li style="width: 50%;">▪ セールスプロモーション <li style="width: 50%;">▪ ショップビジネス論 <li style="width: 50%;">▪ 経営戦略論 		
◆ 職務上の実績に関する事項 (資格, 免許, 特許, 等)			
▪			
◆ 専門研究分野		◆ キーワード	
経営学	地域ビジネス論	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 組織行動 ▪ 都市商業の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 消費者心理 ▪ 地域ブランド
◆ 研究概要	若手社会人就業意識の実証分析、地域資源を生かした地域活性化の実証分析		
◆ 所属学会	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 日本商業学会 ▪ 日本中小企業学会 ▪ 日本産業科学学会 		
◆ 主要著書 (5件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪ 現代日本の産業別マーケティング	共	平成6年8月1日	ナカニシヤ出版
▪ 最新商学総論	共	平成7年5月10日	中央経済社
▪ 現代日本の商業構造	共	平成7年11月10日	ナカニシヤ出版
▪ 現代消費生活経済辞典	共	平成9年1月	税務経理協会
▪ 現代都市商業の活性化戦略	単	平成12年6月6日	中部日本共育文化会
◆ 主要論文 (5件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪ 都市商業の組織活動分析	単	平成14年3月15日	名古屋産業大学論集
▪ 尾張旭ブランドについての実証分析	単	平成20年3月15日	名古屋経営短期大学紀要
▪ 中小都市における企業景況分析	単	平成24年3月15日	名古屋経営短期大学紀要
▪ 企業における若手人材のキャリア形成の実態と課題	単	平成25年3月15日	名古屋経営短期大学紀要
▪ 若手社会人の早期離職についての要因分析	単	平成27年3月25日	四天王寺大学紀要第59号

大阪府小売業の構造分析-商業統計に基づく都市小売構造の比較分析-	単	平成 29 年 3 月 25 日	四天王寺大学紀要第 63 号
大阪府における地域経済分析	単	平成 29 年 9 月 25 日	四天王寺大学紀要第 64 号
特化係数を用いた大阪府小売業の業種特性に関する実証研究	単	平成 30 年 3 月 1 日	四天王寺大学紀要第 65 号
本学における地域連携 COCOROE プロジェクトのこれまでの取り組みと今後の展望	共	平成 30 年 3 月 1 日	四天王寺大学教育研究実践集第 5 号
若手社会人就業意識ギャップの経年変化について	単	平成 31 年 3 月 25 日	四天王寺大学紀要第 67 号
◆ その他（5 件程度）			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
フォーラム発表「マーケティング教育実践の効果的方法についての考察	単	平成 9 年 12 月 1 日	平成 9 年度全国消費者フォーラム
学会発表「都市商業の再生のための具体的展開」	単	平成 11 年 5 月 24 日	日本商業学会全国大会
学会発表「商店街の組織活動 DI 分析」	単	平成 13 年 9 月 29 日	日本中小企業学会全国大会
調査研究「尾張旭ブランドについての実証分析-尾張旭市商工会特産推奨品に関するアンケート調査」	単	平成 19 年 4 月 1 日	尾張旭市商工会
学会発表「業種別若手社会人就業意識の現状と課題について」	単	平成 25 年 4 月 20 日	日本商業学会中部部会